

# 県立図書館だより

平成26年10月

青森県立図書館報 第20号

## 本が伝える世界と出会いませんか！ 2014・第68回読書週間



2014年度読書週間ポスター

10月27日から11月9日は、**読書週間**です。

読書週間が始まったのは、終戦から2年後、まだ戦火の傷痕が至るところに残っている1947（昭和22）年でした。「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、出版社、取次会社、書店と公共図書館が力を合わせ、さらに新聞・放送のマスコミ機関の協力のもと、開催されたのです。

### 「めくる めぐる 本の世界」

2014年の読書週間のテーマは、「めくる めぐる 本の世界」。本のページをめくると、そこにある文字・活字をとおし、あらゆる時代、様々な文化に触れる旅をすることができます。

図書館は、本を通じて、歴史や文化を伝えていく役割を担っており、図書館で出会った本によって、新しい文化が芽生えることもあります。

今から80年程前。二人の兄弟が県立青森図書館（現在の県立図書館）を訪れました。兄弟は、そこで一冊の本に出会います。斎藤昌三著『蔵書票の話』。それは、「蔵書票」（蔵書の見返しなどに貼って本の所蔵者を示す小票。エクス・リブリスともいう。）を紹介した美しい本でした。品切れのために入手できなかったその本を、兄弟は図書館から特別に借用し、二人で写本して座右に置いたと言います。

その兄弟は、後に本県を代表する版画家の一人として版画文化の振興に多大な貢献をされた佐藤米次郎と、兄・米太郎です。米次郎は後年、この時のことを振り返り、「挿入されていた小さい多色木版の蔵書票に魅せられて、蔵書票作りに手を染めた」と雑誌『これくしょん 7』（吾八書房編 1988（昭和63）年12月）に書いています。



蔵書票（『蔵書票の話』より）

『蔵書票の話』は、現在も当館に大切に保管し、ご覧いただくことができます。

当館では、読書週間に「伝える 伝わる 本の世界」と題し、外国から伝わってきた、日本で長く伝えられてきた文化を「技術」「食」「芸能」など様々な視点で取り上げ、展示を行います。ご来館のうえ、ぜひご覧ください。

### 目 次

本が伝える世界と出会いませんか！2014・第68回読書週間	1
文学館スタンプラリーに参加しませんか	2～3
参考・郷土室からのお知らせ！	4
こどものひろば	5
ご存じですか？この資料	6
ようこそ文学館へ！	7
カウンターからひとこと	8

# 文学館スタンプラリーに参加しませんか



青森県近代文学館の年4回の企画展・特別展の期間に合わせて、スタンプラリーを開催しています。

1階の児童閲覧室及び参考・郷土室、2階の近代文学館のそれぞれにあるスタンプ設置場所で、全部のスタンプを集めると、職員手作りのマグネットやしおりなどの記念品がもらえます。

スタンプラリーのスタンプも、職員手作りの「消しゴムはんこ」で、毎回デザインの異なる新作が登場、好評をいただいています。



スタンプ設置場所



スタンプ台紙に全部のスタンプを集めると…

☆こんな記念品がもらえます！（特別展「三浦哲郎」スタンプラリー）



これまで作成した  
スタンプの一部です  
次のスタンプラリーも  
ぜひ御参加ください！



## 参考・郷土室からのお知らせ！

# ～ データベースを使ってみよう！ 自宅編～



「レポートを作成するのに、参考になる論文が見たいなあ。」

「青森県内の各市町村の人口が知りたい。できれば月ごとに。」

参考・郷土室では、利用者の皆さんの「見たい。」「知りたい。」にお応えできるよう、様々なデータベースを利用しています。今回はその中でも、**ご自宅でもご覧いただけるデータベース**をご紹介します。

検索をしてみて、ご覧になりたい本がありましたら、ご相談ください。当館に無い場合でも、他の図書館から借りることができるかどうかお調べします。



### 国立国会図書館サーチ

国立国会図書館や都道府県立図書館、政令指定都市の市立図書館等の資料を検索することができます。他にも、国立国会図書館や他の機関が収録している各種デジタル資料の情報などを検索することができます。

### CiNii Books - 大学図書館の本をさがす

全国の大学図書館等が所蔵する本の情報を検索できます。

資料を探す

### 論文を探す

### CiNii Articles - 日本の論文をさがす

国立国会図書館や、国立情報学研究所等、様々な機関のデータベースから、学術論文情報を検索できます。インターネット上で閲覧できる論文も多くあります。



検索をしてみて、ご覧になりたい論文がありましたら、ご相談ください。当館に無い場合でも、他の図書館にコピーを依頼することができます。

さらに詳しくお調べになりたい場合は、「**官報検索情報サービス**」や「**D1-Law.com(第一法規 法情報総合データベース)**」をご用意していますので、ご相談ください。



### 官報 (インターネット版)

当日を含めた30日分の官報を見ることができます。

※キーワードでの検索はできません。

### 裁判例情報

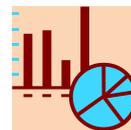
主要な裁判例について、裁判年月日やキーワード等で検索することができます。

法律関係

### 統計データ

### 青森県統計データランド

青森県の各種統計データをまとめたサイトです。キーワード検索、統計一覧等からデータを探すことができます。青森県庁内、青森県内各市町村等の**統計関連リンク集**があります。



### 政府統計の総合窓口 (e-Stat)

各府省等が登録した統計データ、調査項目情報など、各種統計情報を利用することができます。

他にも、様々なデータベースや資料を使って、皆さまの調べもののお手伝いをしています。ぜひ、ご相談ください。



### 【レファレンスの申込み及び問い合わせ先】

青森県立図書館 参考・郷土室

電話 017-729-4311 FAX 017-762-1757

HP <https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/top/mailref/ref.html>

# こどものひろば



## 児童文学作家 <sup>ふるたたるひ</sup> 古田足日さん

児童文学作家・評論家の古田足日さんが、2014（平成 26）年6月8日に 86歳でお亡くなりになりました。

古田さんは、学生の頃から児童文学の評論を書いており、1959（昭和 34）年に出版した評論集『現代児童文学論』（くろしお出版）で、第9回日本児童文学者協会児童文学新人賞を受賞しています。

1961（昭和 36）年出版の『ぬすまれた町』（理論社）で、本格的に児童文学の創作を始め、以降、評論や創作など児童文学界で幅広く活躍しました。

今回は、古田さんのご冥福をお祈り申し上げるとともに、追悼の意を込めて、代表作『おしいれのぼうけん』を紹介します。

### 『おしいれのぼうけん』 古田足日・田畑精一/作 童心社 1974

さくら保育園にあるこわいもの、それは、「おしいれ」と「ねずみばあさん」です。

先生に叱られた さとしと あきは、押入れの上と下の段に、別々に入れられます。だんだん怖くなってきたふたりのもとにあらわれたのは、あの「ねずみばあさん」。ふたりは、汗びっしょりになって「ねずみばあさん」と戦い、大切なものを手に入れるのです。

子どもの頃、少しの不安とともに、なぜか魅力を感じた押入れという特別な空間。押入れの戸は、別世界への入り口です。その戸をあけたとき、わくわくした冒険が始まるかもしれません。



2012（平成 24）年に累計販売部数 200 万部を記録したこの作品は、1974（昭和 49）年 11 月に刊行されてから、2014 年で 40 周年をむかえました。

子どもの頃にこの作品を読んだお父さん、お母さんも多いのではないのでしょうか。ぜひ、親子でご覧ください。

### 11月のおはなし会

11月8日（土）14:00～14:30

青森県立図書館 児童閲覧室おはなしコーナー

※事前申込不要

青森県立保健大学 栄養学科の学生のみなさんが、布でつくった絵本などをつかって、1日3食たべることやうんちの大切さなど、食育についてお話してくれます。



9月のおはなし会の様子



現代版画の第一人者として活躍した青森市出身の<sup>せきの</sup>関野<sup>じゅんいちろう</sup>準一郎(1914-1988)は、2014年に生誕100年を迎えます。

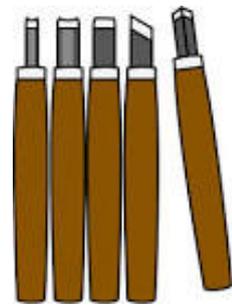
年少時から美術や文学などに興味を持っていた関野は、青森中学校在学中に木版画に本格的に取り組み、同級生<sup>ねいちりょうぞう</sup>の根市良三、<sup>さとうよねじろう</sup>佐藤米次郎、<sup>かきざきたくじ</sup>柿崎卓治らがはじめた版画同人誌にも参加しました。卒業後は家業の手伝いの傍ら、青森市にアトリエを構え、銅版画の研究をしていた今

<sup>じゅんぞう</sup>純三のもとに通い、銅版画・石版画の技法を学び、1939(昭和14)年に上京してからは、<sup>おんちこうしろう</sup>恩地孝四郎に師事し、版画の技術をさらに磨いていきます。

招聘によるアメリカ、ヨーロッパ各地訪問ののちは、旅先での風景や人物を題材とする作品を作り、国内外で高い評価を得るようになります。その後も、青森をはじめとする世界各地の人物や風景を木版画・銅版画など多彩な技法で表現し、戦後の日本版画に新しい息吹をもたらしました。

関野は、生業の傍ら、私家本づくりにも取り組み、その喜びを自著『木版画の楽しみ』(平凡社 1983)の中で次のように綴っています。「出版社から依頼されて作る本は、時には自分の意にそわぬ仕事もある。私家版ならば、他人の思惑は一切気にせず、自分の欲することだけをやれる。売ることなどは考えず、作りたい本を作る喜びは他に

かえられない。」  
当館では、そんな関野の私家本のうち『幽霊の書』(1965)、『外遊土産』(1978)、『祈願絵馬』(1979)など十数点を、書庫に大切に保管しております。和綴じ、洋綴じ、折り本仕立てと、造本の形体にとらわれない装幀からは手作り本ならではの魅力を味わうことができます。



今回紹介した関野の私家本は館内で閲覧できますので、ご希望の方は当館職員にお申し出ください。

なお、青森県立美術館では、[企画展「生誕100年 昭和の版画家 関野準一郎展」](#)が平成26年10月4日(土)から11月24日(月)まで開催されています。

---

青森県立図書館では、青森県に関する資料や青森県内で刊行された資料、青森県在住者・出身者の著作物等を郷土資料として積極的に収集し、永く保存するとともに、県内外の皆様幅広くご利用いただいております。

---



# ようこそ文学館へ！

～近代文学館資料の紹介（第20回）～

だんちょう

# 俳誌「暖鳥」

「暖鳥」は1940（昭和15）年に結成された青森俳句会の機関誌として1946（昭和21）年2月に創刊されました。A5判で12ページの小冊子でしたが、戦後の物資が乏しい中では驚きの活版印刷でした。代表は吹田孤蓬、創刊時の同人は千葉菁実、宮川翠雨、成田千空ら26人でした。

2006（平成18）年の第701号で終刊を迎えるまで60年にわたり、青森県の俳句界をリードしました。高校、大学時代の寺山修司の句も5年間で200句あまり掲載されました。

創刊号の表紙は、書家・鈴木翠軒の高弟で、同人の宮川翠雨が一冊一冊毛筆で書いたものです。

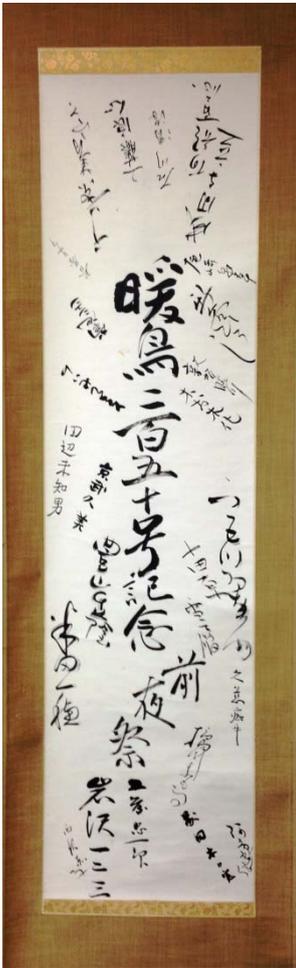


「暖鳥」創刊号 昭和21年2月



「暖鳥」250号 昭和43年。  
表紙は棟方志功による。

千葉菁実、宮川翠雨、成田千空のほか、寺山修司の中学時代からの友人の京武久美や吹田孤蓬亡き後「暖鳥」の主宰となった新谷ひろし等25人の名が見えます。



暖鳥 250号 前夜祭の寄せ書き

紹介した資料は、企画展「成田千空」（10月11日～11月24日）で展示しています。多数のご来館をお待ちしています。

# カウンターからひとこと(第20回)



## オンライン貸出サービス開始から10年！

当館では、ホームページから本の予約・貸出しを申込みことができる「[オンライン貸出サービス](#)」を行っています。このサービスは、当館のほか、**市町村立図書館・公民館等でも本を受取り・返却できる**ことから、県内のどちらにお住まいの方でも無料でお気軽にご利用いただけます。

2004（平成16）年にサービスを開始し、この7月に丸10年を迎えました。

## オンライン貸出サービスを利用するには？

### ◆利用登録手続き

当館の「利用者カード申込み」と、当館ホームページのオンライン貸出サービスのページにログインするための「仮パスワードの交付」が必要です。当館のカウンターか郵送でお申込みください。

### ◆本の検索・貸出の申込み

[図書検索ページ](#)でログインした後、本を検索し、受取る図書館・公民館等を指定して、ご希望の本を予約します。



### ◆本の受取り・返却

貸出しの準備ができると、当館からメールでお知らせします。

翌日から、指定した図書館・公民館等で本を受取ることができます。

返却は、受取った図書館・公民館等か当館にお持ちください。

## 【よくある質問】

### ・貸出できる資料は？

本だけです。※雑誌・CDなどの視聴覚資料は対象外です。

### ・貸出期間は？

市町村立図書館・公民館等で受け取る場合は、受取開始日から15日間です。ただし、貸出票に記載される期間は本の搬送期間を含んでいるため、21日間となっています。

県立図書館で受け取る場合は、15日間です。

※いずれの場合も、次の予約がない場合は、7日間単位で2回まで延長が可能。

### ・貸出冊数は？

直接来館して借りた分も含めて5点までです。

### ・予約できる冊数の制限は？

冊数に制限はありません。

※保留冊数が多くなった場合などには、予約の解除をお願いすることがあります。

☆詳しくは、当館ホームページ「[オンライン貸出サービス](#)」をご覧ください。  
当館カウンターにお問い合わせください。

電話 017-729-4300（カウンター直通）